

平成 29 年阿賀野市子育て応援カード事業に関する

アンケート調査報告書

第 1 章

1 調査の目的

平成 22 年 4 月から、子育て家庭を地域全体で支援し、社会全体で子育てをサポートする気運を高めるため、15 歳未満の子どもがいる家庭を対象とした「阿賀野市子育て応援カード」事業を実施しています。

現在、「阿賀野市子育て応援カード」が市民にどの程度認知され、利用されているのかを収集し、今後の事業促進に役立てることを目的として、協賛企業と子育て家庭に向けてアンケート調査を実施しました。

2 調査の対象

子育て応援カード事業協賛企業 142 店舗

子育て応援カード交付世帯 500 世帯（全 2,435 世帯から無作為抽出）

3 調査方法

平成 29 年度カード更新時の送付の際に、アンケート用紙と返信用切手を同封し、5 月 27 日(金)を〆切期限として回答を依頼しました。

アンケートは協賛企業用、子育て家庭用ともに匿名形式としました。

4 回収状況

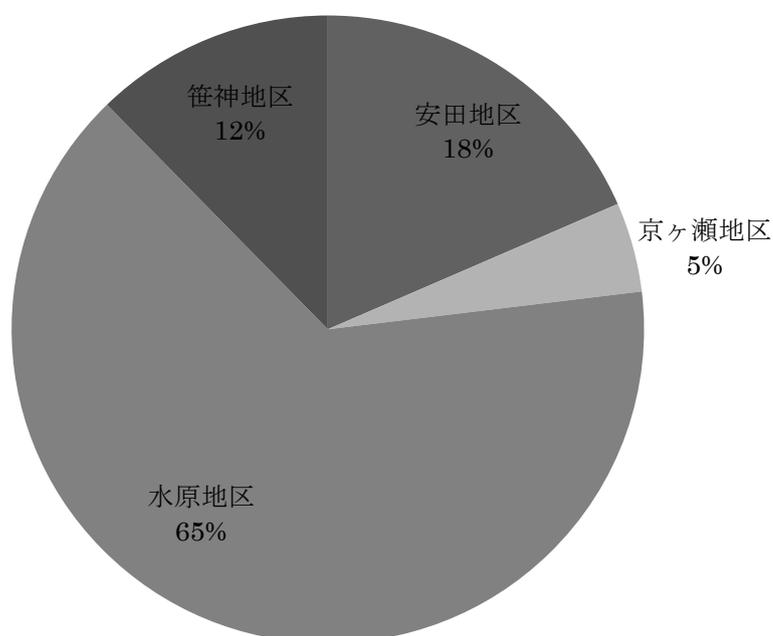
本調査の配布数および回収結果

	配布数	回収数	回収率
協賛企業	142	66	46.5%
子育て家庭	500	192	38.4%
合計	642	258	40.2%

第2章 調査結果（協賛企業へのアンケート結果）

【問1】貴店舗の所在する地区について該当するもの一つに○を記入してください。

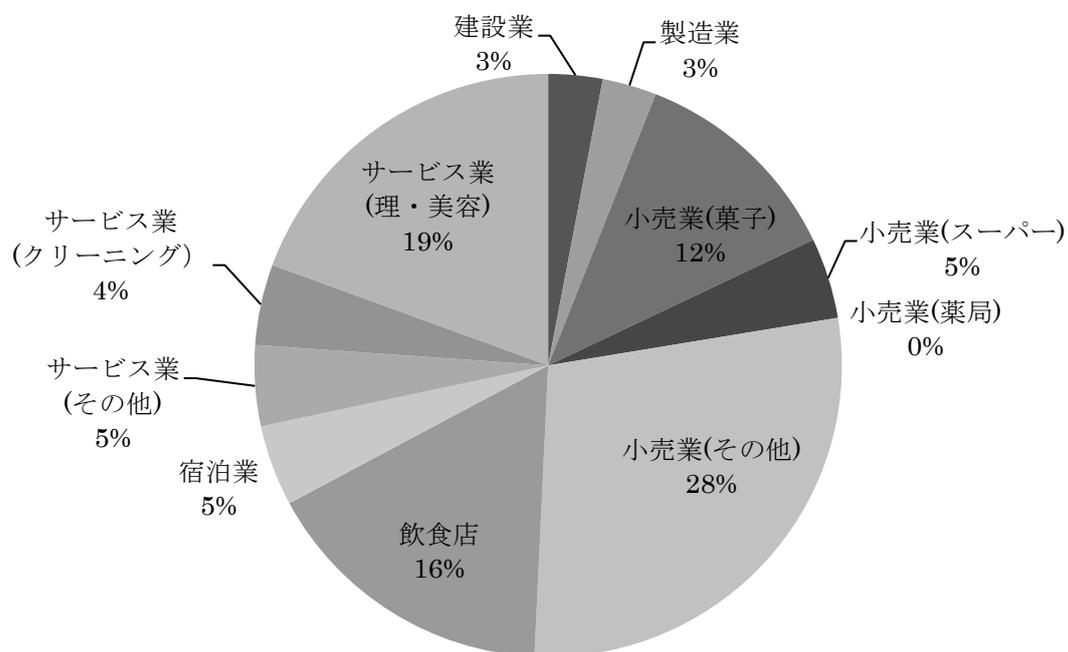
【問1】	安田地区	京ヶ瀬地区	水原地区	笹神地区	合計
回答数	12	3	42	8	65
%	18.5%	4.6%	64.6%	12.3%	100.0%



今回、アンケートに答えて頂いた店舗の所在地区は、「水原地区」が64%で最も多く、次いで「安田地区」18%、「笹神地区」12%、京ヶ瀬地区5%となっています。

【問 2】 貴店舗の産業分類について該当するもの一つに○を記入してください。

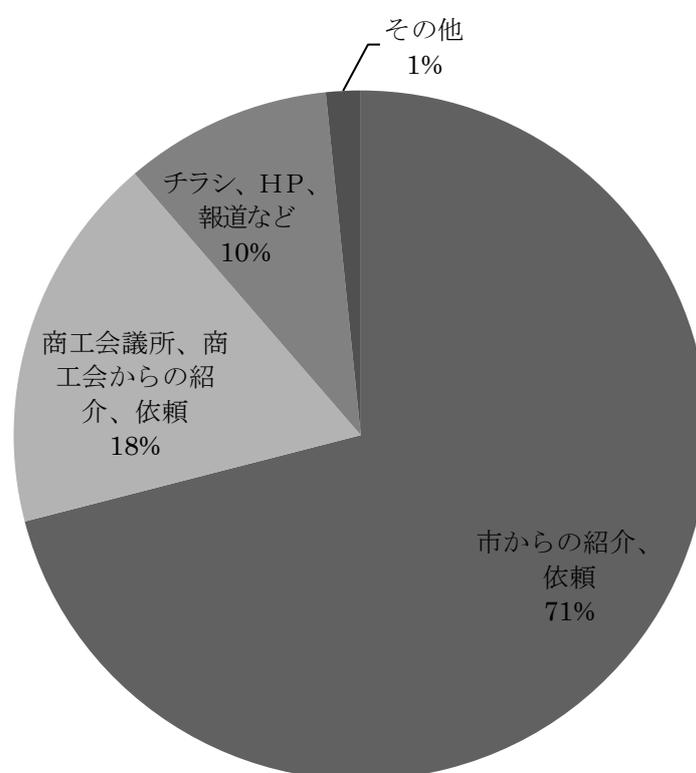
【問 2】	回答数	%
建設業	2	3.0%
製造業	2	3.0%
小売業(菓子)	8	11.9%
小売業(スーパー)	3	4.5%
小売業(薬局)	0	0.0%
小売業(その他)	19	28.4%
飲食店	11	16.4%
宿泊業	3	4.5%
サービス業(その他)	3	4.5%
サービス業(クリーニング)	3	4.5%
サービス業(理・美容)	13	19.4%
合計	67	100.0%



協賛企業の産業分類では、「小売業（その他）」が最も多く 28%でした。次いで、「サービス業（理・美容）」19%、「飲食店」16%となっています。

【問 3】阿賀野市子育て応援カード事業への協賛のきっかけについて該当するもの一つに○を記入してください。

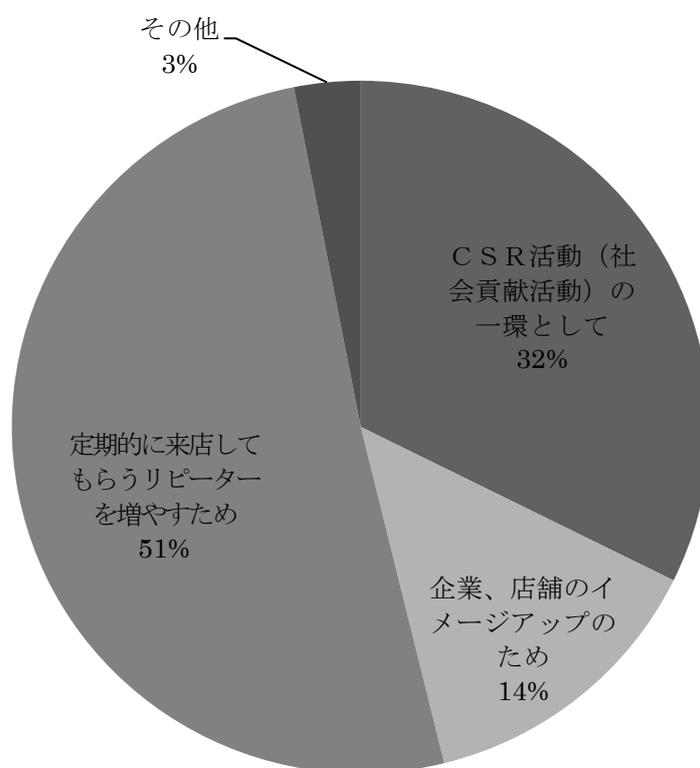
【問 3】	回答数	%
市からの紹介、依頼	44	71.0%
商工会議所、商工会からの紹介、依頼	11	17.7%
チラシ、HP、報道など	6	9.7%
その他	1	1.6%
合計	62	100.0%



本事業協賛のきっかけについては、「市からの紹介、依頼」が71%と最も多く、次いで「商工会議所、商工会からの紹介、依頼」18%、「チラシ、HP、報道など」が10%となっています。約7割の企業が市役所からの依頼で協賛しています。

【問4】協賛したことにより最も期待する効果について該当する主なもの一つに○を記入してください。

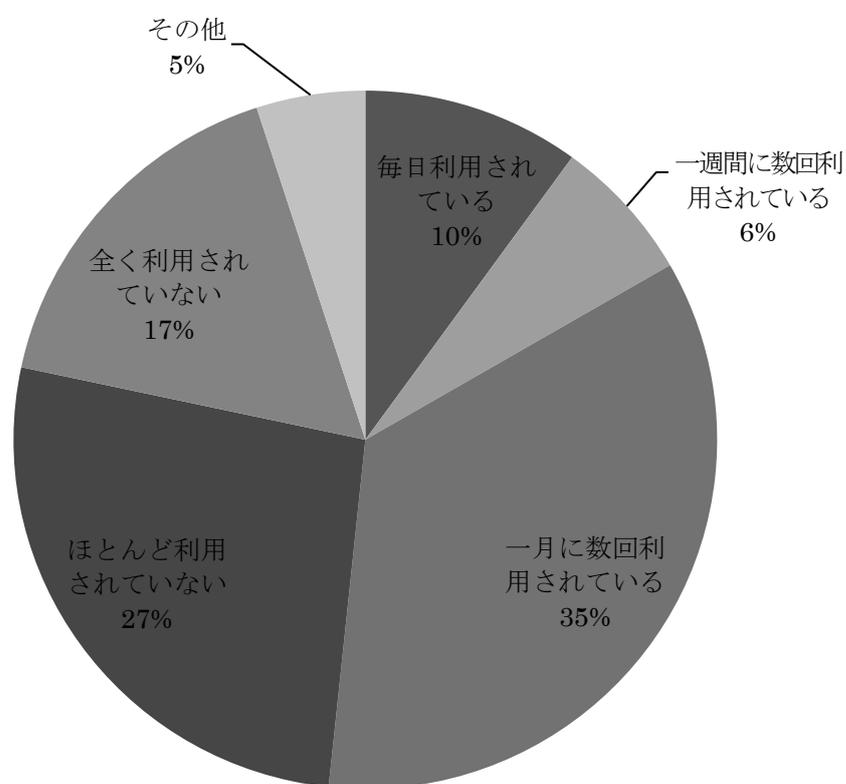
【問4】	回答数	%
CSR活動(社会貢献活動)の一環として	21	32.3%
企業、店舗のイメージアップのため	9	13.8%
定期的に来店してもらいリピーターを増やすため	33	50.8%
その他	2	3.1%
合計	65	100.0%



協賛したことにより期待する効果としては、「定期的に来店してもらいリピーターを増やすため」を半数以上の企業が挙げました。次いで、「CSR活動(社会貢献活動)の一環として」が32%となりました。

【問 5】阿賀野市子育て応援カードの利用実態について該当するもの一つに○を記入してください。

【問 5】	回答数	%
毎日利用されている	6	10.0%
一週間に数回利用されている	4	6.7%
一月に数回利用されている	21	35.0%
ほとんど利用されていない	16	26.7%
全く利用されていない	10	16.7%
その他	3	5.0%
合計	60	100%

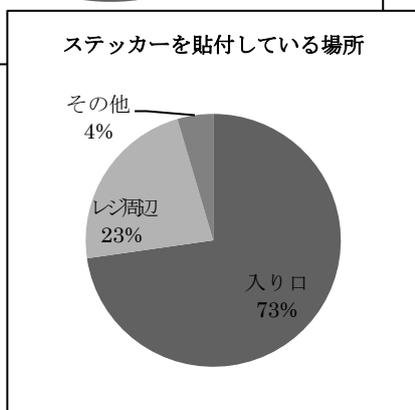
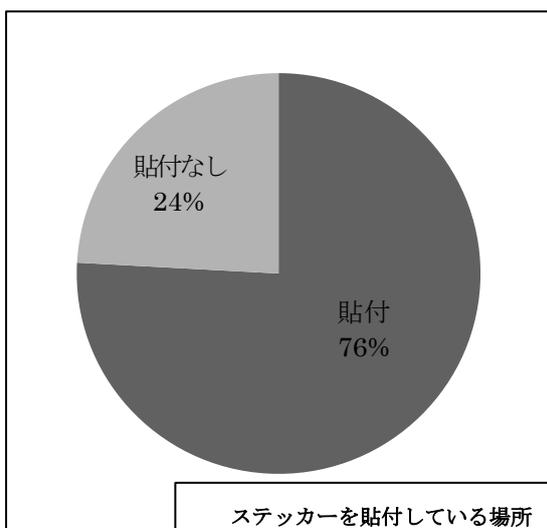


応援カードの利用頻度としては、「一月に数回利用されている」が最も多く 35%、次いで「ほとんど利用されていない」26%、「全く利用されていない」16%となっています。

【問6】協賛店ステッカー・のぼり旗について、店頭等へ掲示（貼付）していますか。掲示（貼付）している場合は、その場所を、提示（貼付）していない場合は、どのようなものであれば掲示しますか。該当するのに○を記入してください。

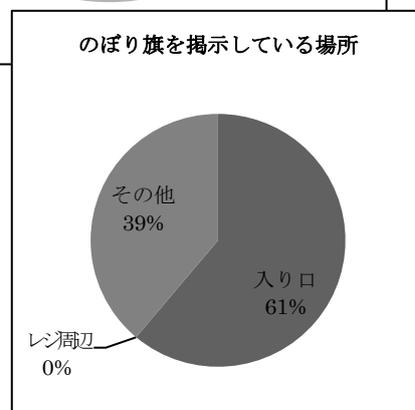
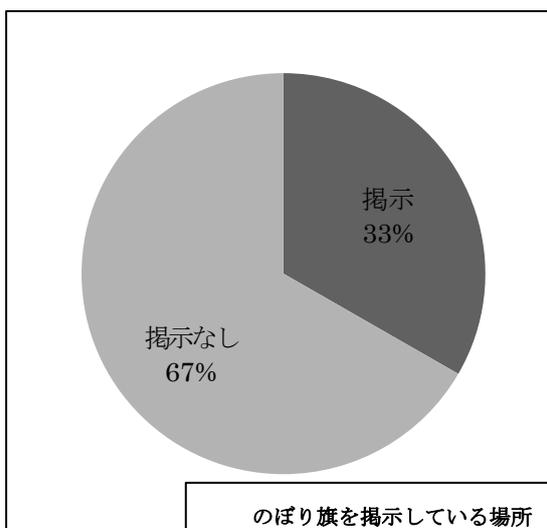
ステッカー

	貼付	貼付なし	合計
回答数	44	14	58
%	75.9%	24.1%	100.0%



のぼり旗

	掲示	掲示なし	合計
回答数	19	38	57
%	33.3%	66.7%	100.0%



ステッカーを貼付している店舗は76%でした。対して、のぼり旗を掲示している店舗は33%となっています。

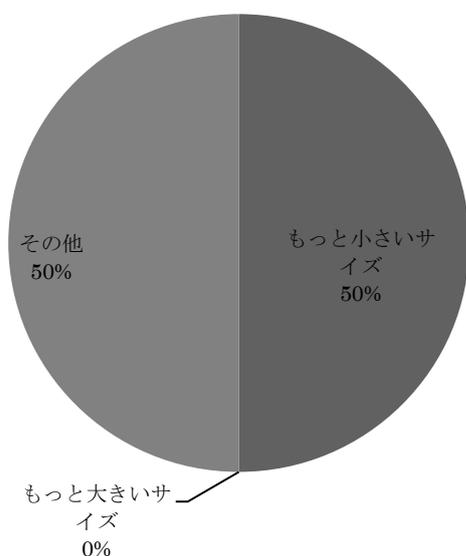
ステッカーを貼付していると回答した店舗のうち、「入り口」に貼付が73%、「レジ周辺」に貼付が23%となりました。

のぼり旗を掲示していると回答した店舗では、「入り口」に掲示が61%、次いで「その他」が39%となっています。

続いて、ステッカー・のぼり旗の掲示（貼付）をしていない店舗へどのようなものであれば掲示（貼付）するかアンケート結果です。

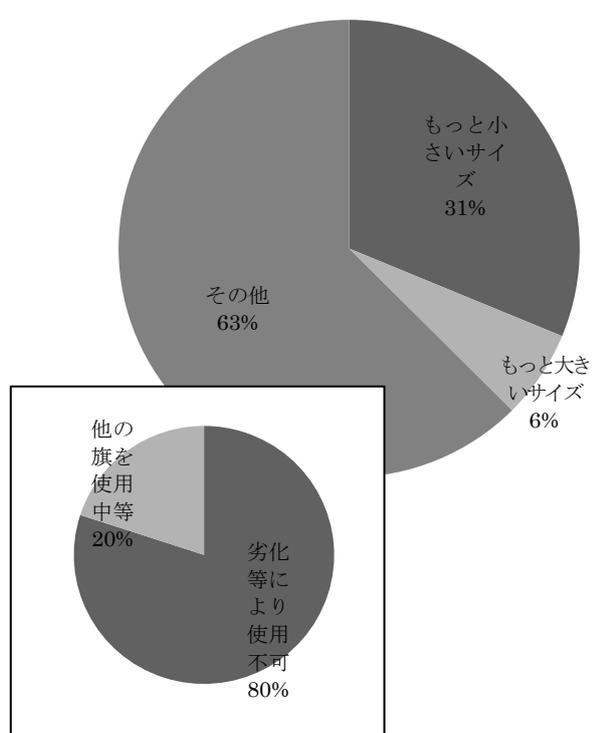
ステッカー

	回答数	%
もっと小さいサイズのもの (レジ周辺へ貼れるような)	2	50.0%
もっと大きいサイズのもの (もっと目立つように)	0	0.0%
その他	2	50.0%
合計	4	100.0%



のぼり旗

	回答数	%
もっと小さいサイズのもの (レジ周辺へ貼れるような)	5	31.3%
もっと大きいサイズのもの (もっと目立つように)	1	6.3%
その他	10	62.5%
合計	16	100.0%



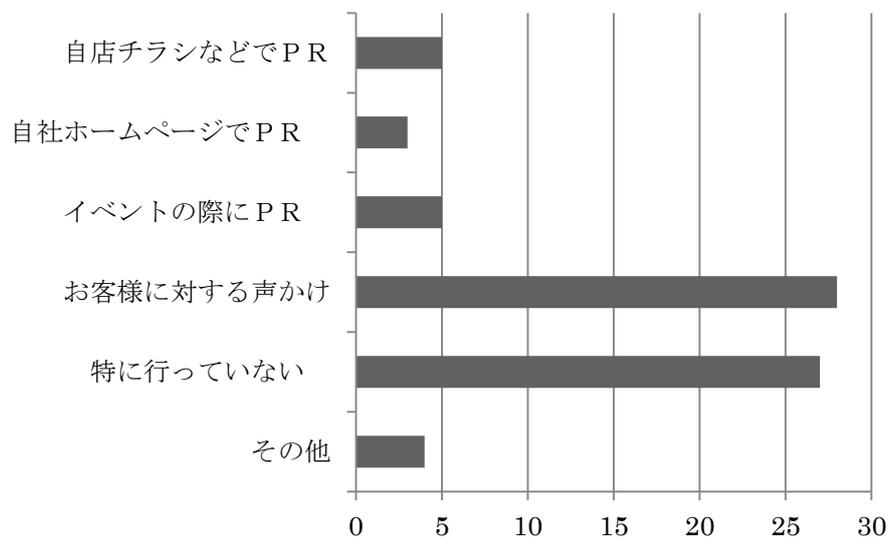
どのようなステッカーなら貼付するかというアンケートの結果としては、「もっと小さいサイズ」が2件で50%でした。

のぼり旗については「もっと小さいサイズ」が31%、「もっと大きいサイズ」が6%、「その他」が63%でした。「その他」のうち、80%がのぼり旗が劣化等したため現在使用していないという旨の内容でした。

のぼり旗の使用率が低かった理由として、のぼり旗を平成27年6月に配布し、約2年が過ぎたため、色あせ、破損等の経年劣化で使用できなくなったことが考えられます。

【問 7】阿賀野市子育て応援カードの利用促進について、現在、貴店舗で独自に行っている取り組みについて、該当するもの全てに○を記入してください。(複数回答可)

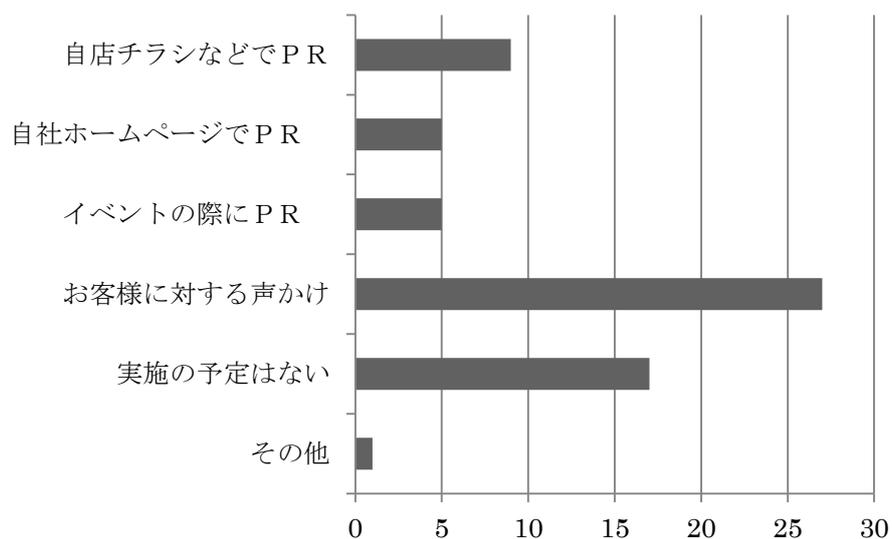
【問 7】	回答数
自店チラシなどでPR	5
自社ホームページでPR	3
イベントの際にPR	5
お客様に対する声かけ(カードを持っていますかなど)	28
特に行っていない	27
その他	4



子育て応援カード利用促進のため協賛店独自に行っていることとしては「お客様に対する声かけ」が最も多く 28 件、次いで「特に行っていない」が 27 件となりました。

【問 8】阿賀野市子育て応援カードの利用促進について、今後、実施したいと思っている取り組みについて、該当するもの全てに○を記入してください。(複数回答可)

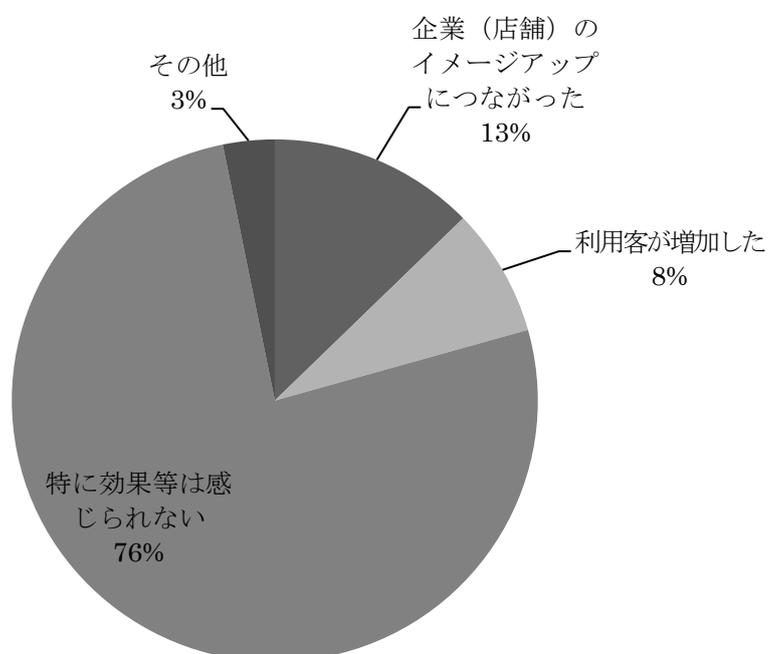
【問 8】	回答数
自店チラシなどでPR	9
自社ホームページでPR	5
イベントの際にPR	5
お客様に対する声かけ(カードを持っていますかなど)	27
実施の予定はない	17
その他	1



今後、実施したいと思っている取り組みとしては、「お客様に対する声かけ」が 27 件、次いで「実施の予定はない」が 17 件となりました。

【問9】サービスの実施による効果について該当する主なもの一つに○を記入してください。

【問9】	回答数	%
企業(店舗)のイメージアップにつながった	8	12.7%
利用客が増加した	5	7.9%
特に効果等は感じられない	48	76.2%
その他	2	3.2%
合計	63	100.0%

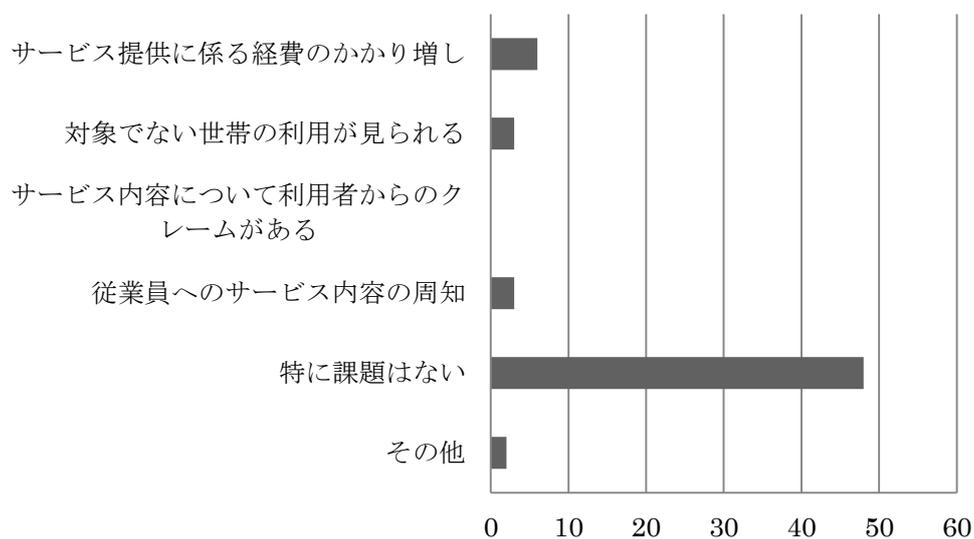


子育て応援カード協賛店になったことによる効果については、「特に効果等は感じられない」が76%で最も多く、次いで「企業(店舗)のイメージアップにつながった」が13%、「利用客が増加した」が8%となりました。

7割以上の企業が実感として、子育て応援カードによる効果は感じられないという状況です。

【問 10】 サービスの実施に際しての課題について、該当するもの全てに○を記入してください。（複数回答可）

【問 10】	回答数
サービス提供に係る経費のかかり増し	6
対象でない世帯の利用が見られる	3
サービス内容について利用者からのクレームがある	0
従業員へのサービス内容の周知	3
特に課題はない	48
その他	2

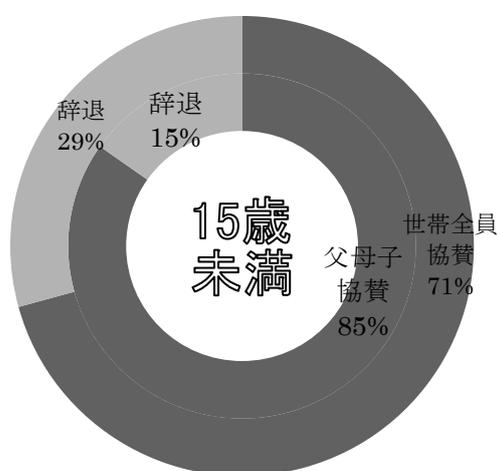


サービス実施についての課題については、「特に課題はない」が 48 件と最も多く、次いで、「サービス提供に係る経費のかかり増し」が 6 件となっています。

【問 11】 今後、利用対象者の範囲を拡大した場合、現状どおりご協賛いただけますでしょうか。該当するもの全てに○を記入してください。また、妊娠中の方も対象とした場合、ご協賛いただけますでしょうか。該当するもの一つに○を記入してください。

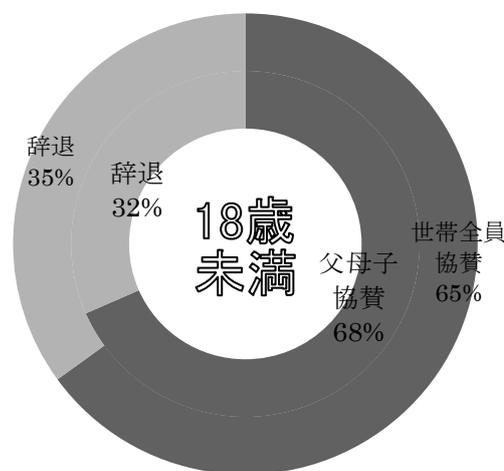
15 歳未満

	父母子	世帯全員
協賛	39	29
辞退	7	12



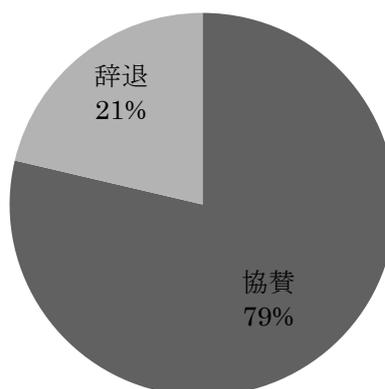
18 歳未満

	父母子	世帯全員
協賛	26	26
辞退	12	14



妊娠中の方

	回答数	%
協賛	48	78.7%
辞退	13	21.3%
合計	61	100.0%

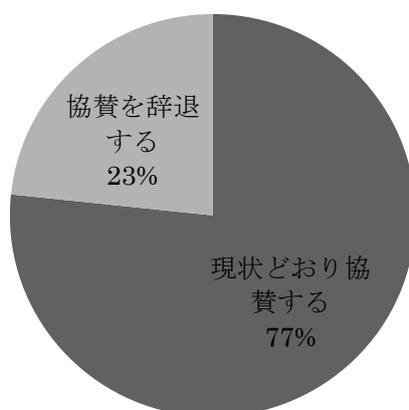


利用対象者の年齢については、15歳未満では「父母子協賛」が約85%、「世帯全員」が約71%となりました。18歳未満まで拡大となると、協賛するという企業が減少し、「父母子協賛」が約68%、「世帯全員」が約65%となっています。

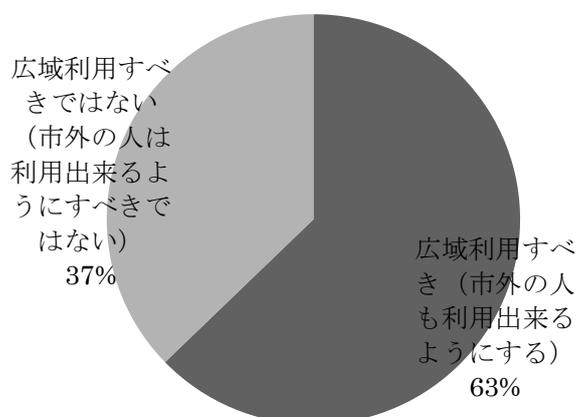
妊娠中の方については、8割弱の企業が協賛するとの回答でした。

【問 12】市外の人でも利用出来るようになった場合、現状どおりご協賛いただけますでしょうか。該当するものに○を記入してください。また、広域利用すべきか、すべきでないか、該当するもの○を記入し、広域化についてのご意見・ご提言をご記入ください。

	現状どおり協賛する	協賛を辞退する	合計
個数	46	14	60
%	76.7%	23.3%	100.0%



	広域利用すべき (市外の人でも利用出来るようにする)	広域利用すべきではない (市外の人には利用出来るようにすべきではない)	合計
個数	32	19	51
%	62.7%	37.3%	100.0%



広域化に対する意見・提言としては、賛成意見として「お客様の増加が期待できるため賛成」といった声が上がっています。他にも「市外の方に阿賀野市を知ってもらうきっかけになるのではないか」といったものや、「市内に通勤している人や帰省してくる人も対象にしてよいのではないか」といった回答がありました。

反対意見としては、広域化する事によって不正利用が増えるのではないかとといった意見、市内の子育てを応援するための福祉として協賛したいといった意見もありました。

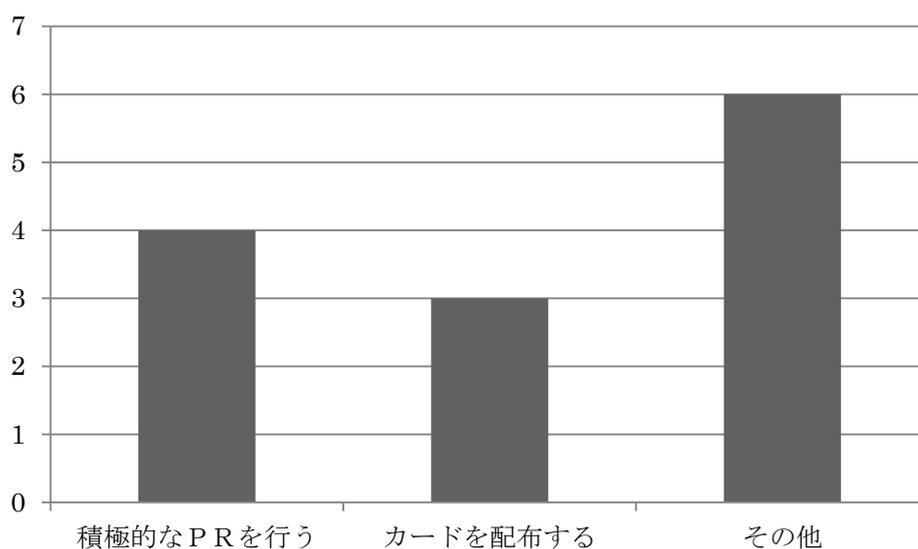
今回のアンケートでは、広域化しても「現状どおり協賛する」が約77%で「協賛を辞退する」が約23%でした。

また、「広域利用すべき」は約63%で「広域利用すべきではない」は約37%でした。当事業の広域化については、今後慎重に検討していきたいと思います。

【問 13】 当事業は、地域全体で子育て家庭を支えていく機運を高めるために実施していますが、さらなる協賛店の拡大や積極的な事業のPRを行い、地域に密着した事業として子育て家庭が利用しやすい環境をつくり、利用進を図ることが必要と考えます。利用しやすい事業とするためには、どのような方法があると思いますか。

【問 13】	回答数
積極的なPRを行う	4
カードを配布する	3
その他	6

※類似意見が複数あるものを項目化



利用しやすい事業とするためには、「積極的なPRを行うべき」といった内容が4件でした。次いで「もっとカードを配布するべき」といった内容が3件でした。

【問 14】阿賀野市子育て応援カード事業について、ご意見・ご要望がございましたら
ご自由に記入してください。

【問 14】	回答数
経済的な負担が大きい	2
カード対象者かどうか判断できない	1
カードに名前を確実に記入してほしい	1
サービス内容を確認してから利用してほしい	1
サービス内容を数年単位で確認すべき	1
新しいのぼり旗がほしい	1
応援カード事業に対する肯定意見	1

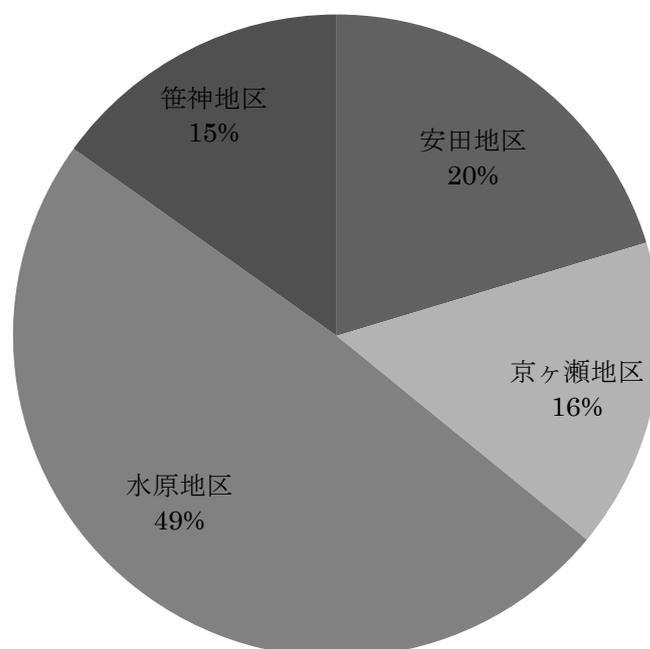
当事業へのご意見・ご要望としては「経済的な負担が大きい」が最も多く 2 件でした。
この中には、市で負担分の援助をしてほしいとの意見もありました。

そのほか、カードの不正使用に対する危惧やカードに記名をしてほしいといった回答、
利用者は先にサービス内容を確認してからカードを利用してほしいといった回答があ
りました。

第3章 調査結果（子育て家庭へのアンケート結果）

【問1】あなたのお住まいの地区について、該当するもの一つに○を記入してください。

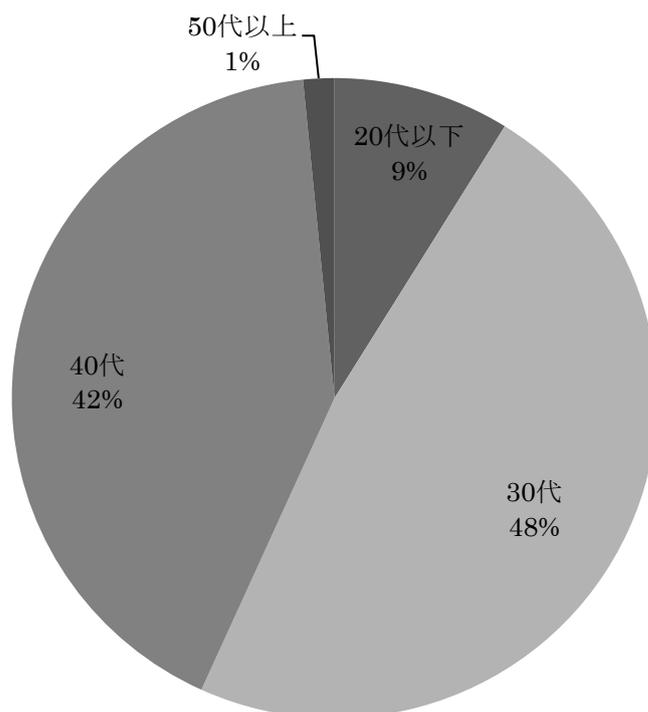
【問1】	安田地区	京ヶ瀬地区	水原地区	笹神地区	合計
回答数	39	30	94	29	192
%	20.3%	15.6%	49.0%	15.1%	100.0%



今回、アンケートに答えて頂いた子育て家庭は「水原地区」の方が最も多く、49%でした。次いで「安田地区」20%、「京ヶ瀬地区」16%、「笹神地区」15%となっています。

【問2】 あなたの年齢について、該当するもの一つに○を記入してください。

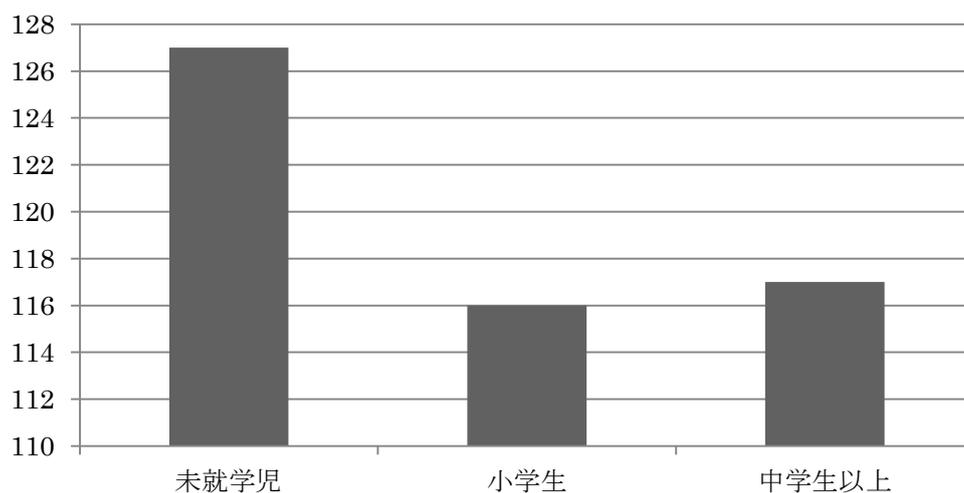
【問2】	20代以下	30代	40代	50代以上	合計
回答数	17	92	80	3	192
%	8.9%	47.9%	41.7%	1.6%	100.0%



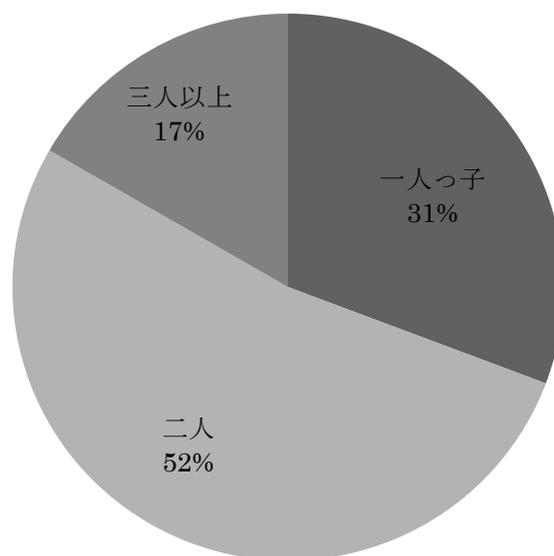
アンケート回答者の年齢については、「30代」が48%と最も多く、次いで「40代」が42%、「20代以下」9%、「50代以上」1%となっています。

【問3】 お子さんは何人いますか。

【問3】	未就学児	小学生	中学生以上	合計
回答数	127	116	117	360



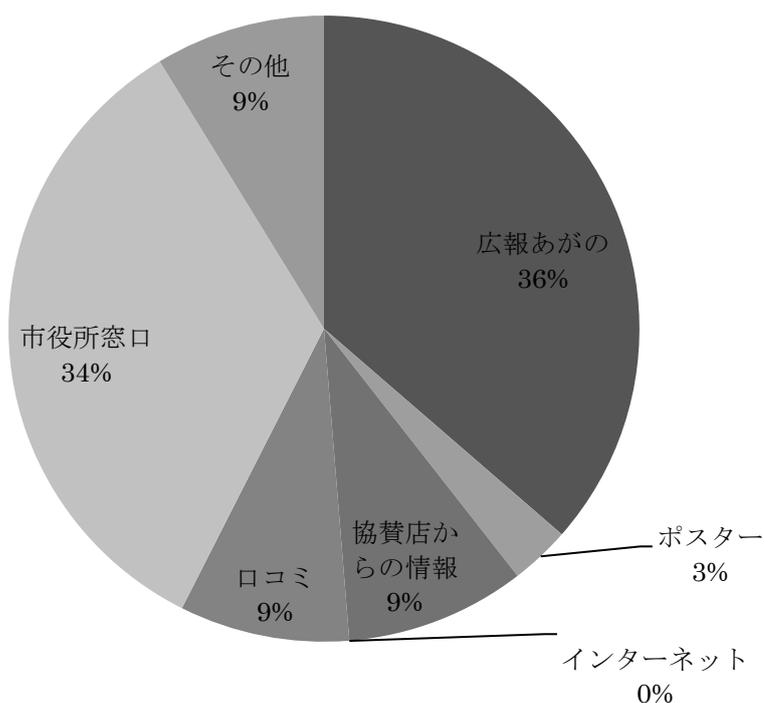
また、世帯における子どもの人数は以下の通りです。



今回、アンケートに答えて頂いた家庭では、「未就学児」の数が多く、合計 127 人でした。また、世帯における子どもの人数としては「二人」が最も多く 52%でした。

【問4】 「阿賀野市子育て応援カード」を何で知りましたか。該当するもの一つに○を記入してください。

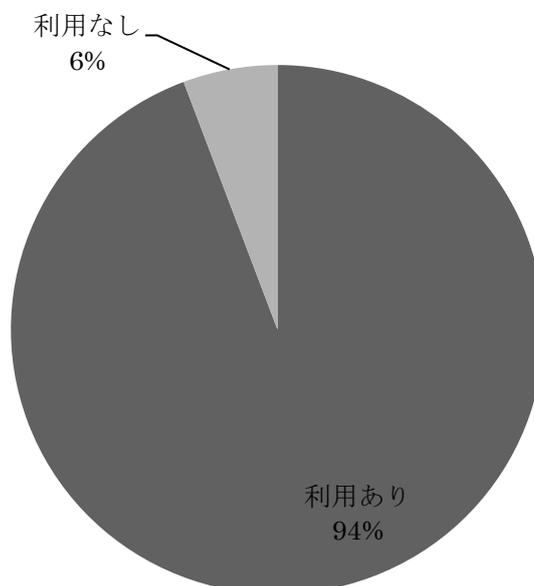
【問4】	回答数	%
広報あがの	71	36.4%
ポスター	6	3.1%
協賛店からの情報	18	9.2%
インターネット	0	0.0%
口コミ	17	8.7%
市役所窓口	66	33.8%
その他	17	8.7%
合計	195	100.0%



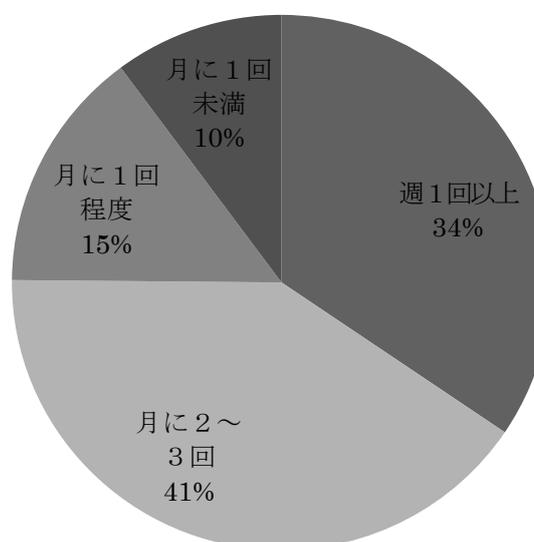
「広報あがの」によって子育て応援カードのことを知ったという人が最も多く 36% でした。次いで「市役所窓口」が 34%、「協賛店からの情報」、「口コミ」、「その他」が 9% でした。

【問5】カードを利用したことはありますか。また、利用頻度はどのくらいですか。

【問5】	回答数
利用あり	181
利用なし	11



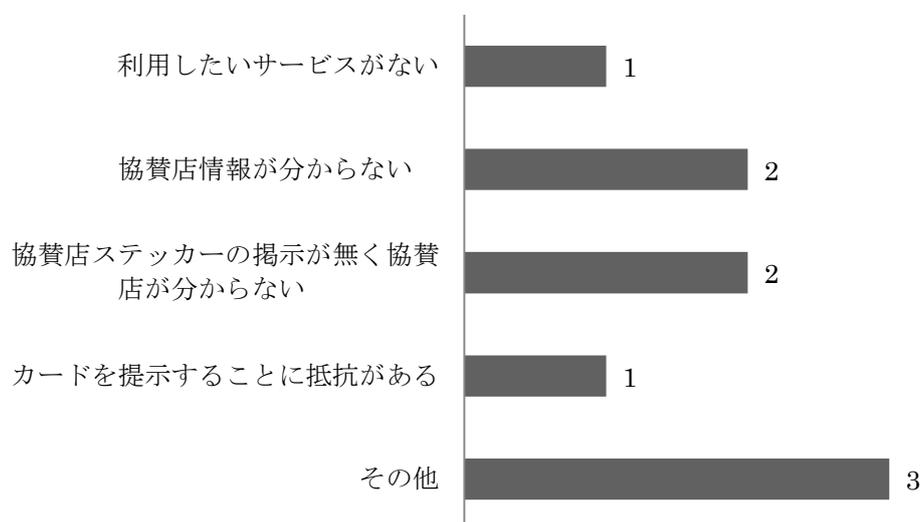
【問5】	回答数
週1回以上	61
月に2~3回	72
月に1回程度	26
月に1回未満	18



カードを利用したことがあるかどうかのアンケートでは、「ある」が94%、「ない」が6%でした。利用頻度としては、「月に2~3回」が最も多く41%、次いで「週一回以上」が34%となっています。

【問6】問5で「イ 利用したことがない」と答えた方にお聞きします。利用しない理由について、該当する主なもの一つに○を記入してください。

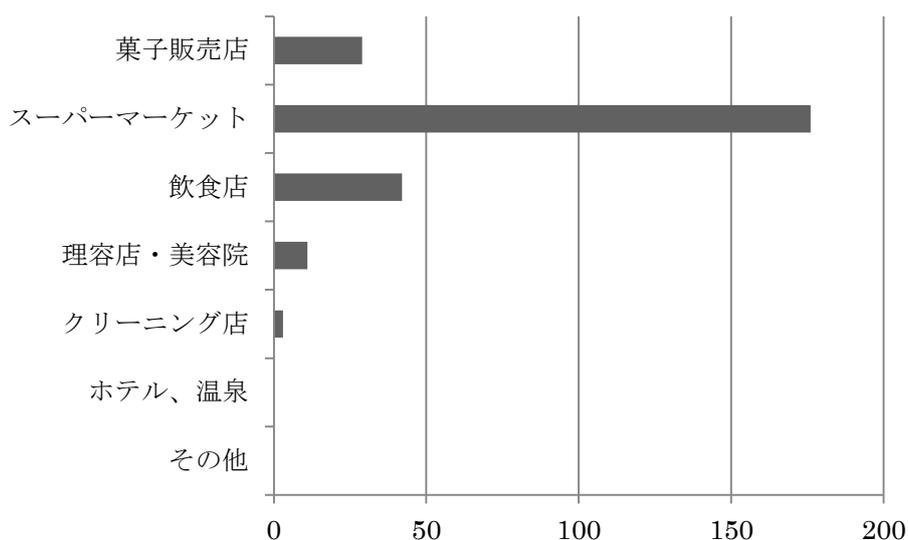
【問6】	回答数
利用したいサービスがない	1
協賛店情報が分からない	2
協賛店ステッカーの掲示が無く協賛店が分からない	2
カードを提示することに抵抗がある	1
その他	3
合計	9



応援カードを利用しない理由については、「その他」が最も多く、3件で割合にして33%でした。次いで「協賛店情報が分からない」と「協賛ステッカーの掲示がなく協賛店が分からない」が2件で22%でした。

【問7】問5で「ア 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。どんなお店で利用しましたか。該当するもの全てに○を記入してください。（複数回答可）

【問7】	回答数
菓子販売店	29
スーパーマーケット	176
飲食店	42
理容店・美容院	11
クリーニング店	3
ホテル、温泉	0
その他	0
合計	261

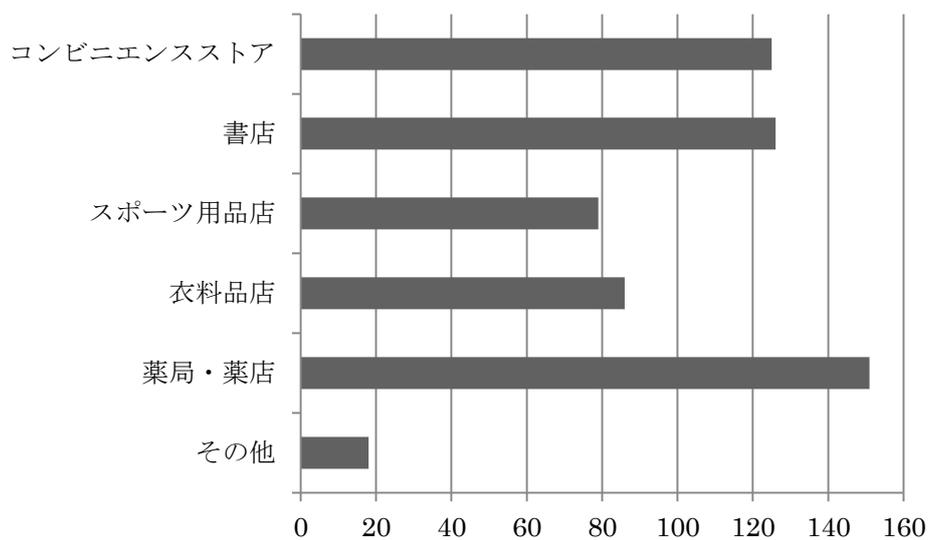


応援カードを利用したことがあるお店については「スーパーマーケット」が最も多く、176件でした。アンケート回答者192人のうち、約92%の方が利用したことになります。

次いで、「飲食店」が42件、「菓子販売店」が29件でした。

【問8】どのような協賛店があればうれしいですか。該当するもの全てに○を記入してください。（複数回答可）

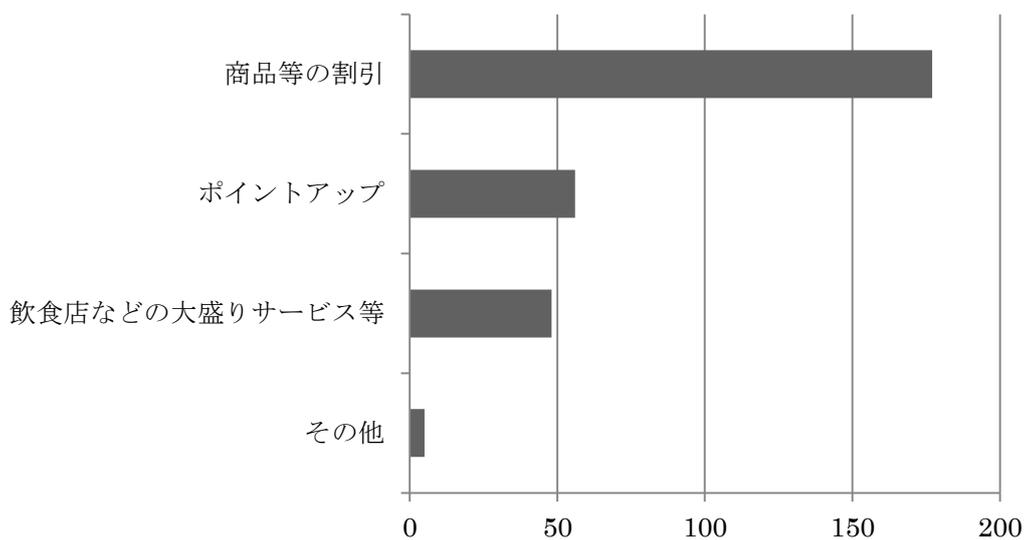
【問8】	回答数
コンビニエンスストア	125
書店	126
スポーツ用品店	79
衣料品店	86
薬局・薬店	151
その他	18
合計	585



利用者が希望する協賛店の業種としては「薬局・薬店」が最も多く、151件でした。次いで「書店」が126件、「コンビニエンスストア」が125件でした。

【問9】 どのようなサービスがあればうれしいですか。該当するもの全てに○を記入してください。（複数回答可）

【問9】	回答数
商品等の割引	177
ポイントアップ	56
飲食店などの大盛りサービス等	48
その他	5
合計	286



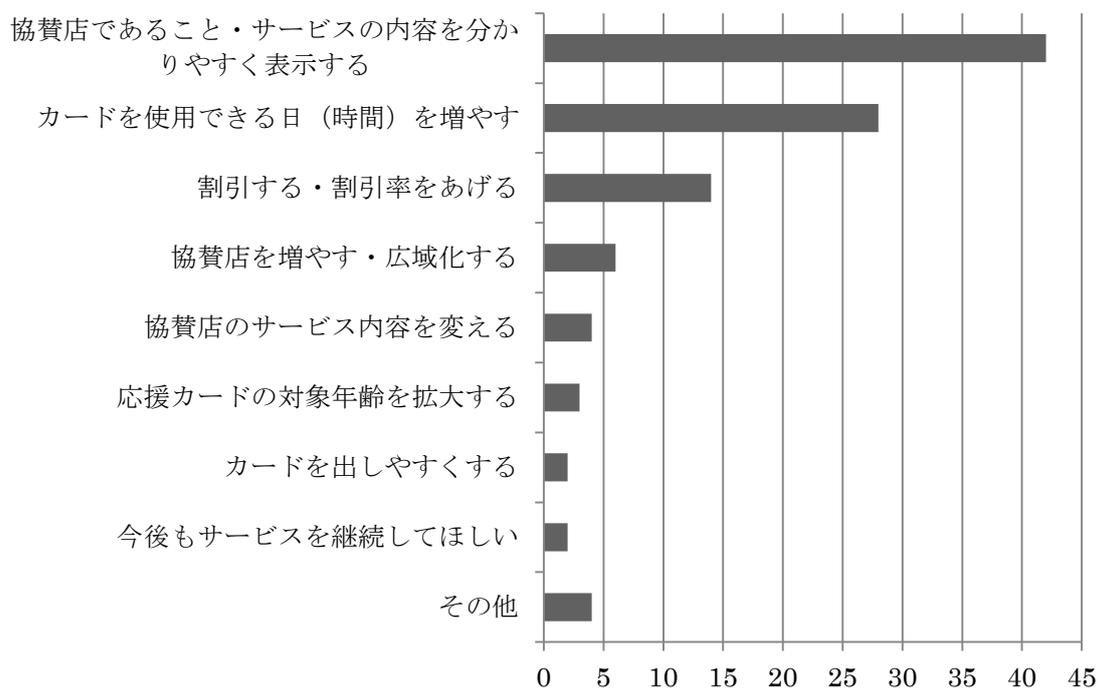
利用者が求めているサービスとしては、「商品等の割引」が圧倒的に多く、177 件でした。次いで「ポイントアップ」が 56 件、「飲食店などの大盛りサービス等」が 48 件でした。

【問 10】 協賛店に望むことについて、ご自由に記入してください。

アンケートの記載内容は、以下のような内容に分けられました。

【問 10】	回答数
協賛店であること・サービスの内容を分かりやすく表示する	42
カードを使用できる日(時間)を増やす	28
割引する・割引率をあげる	14
協賛店を増やす・広域化する	6
協賛店のサービス内容を変える	4
応援カードの対象年齢を拡大する	3
カードを出しやすくする	2
今後もサービスを継続してほしい	2
その他	4

※類似意見が複数あるものを項目化



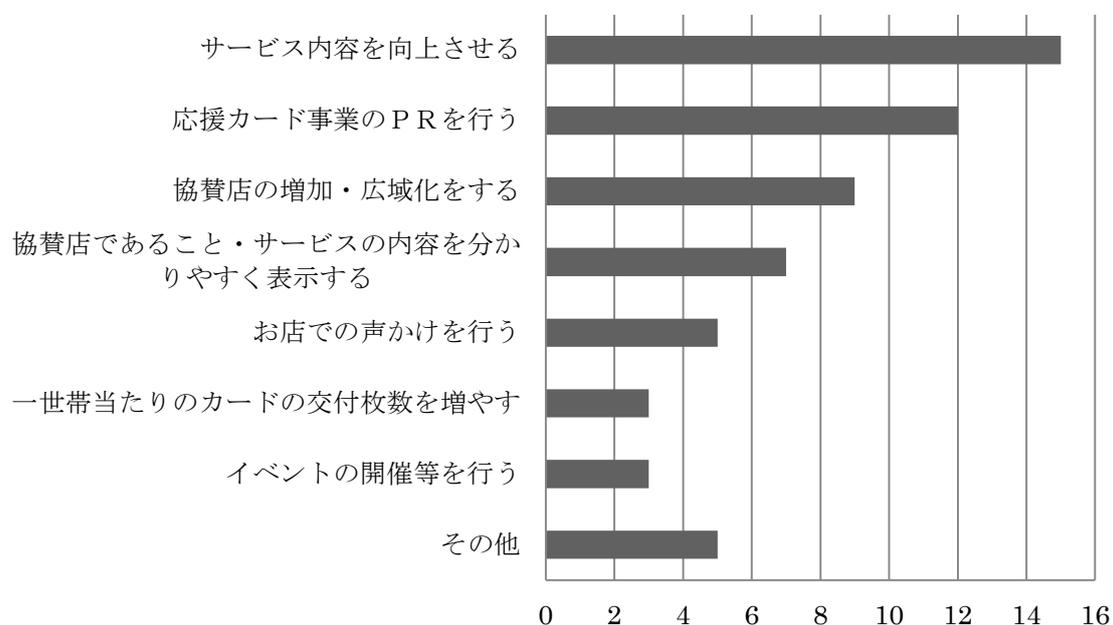
協賛店に望むこととして、「協賛店であること・サービスの内容を分かりやすく表示する」といった内容が最も多く 42 件でした。次いで、「カードを使用できる日(時間)を増やす」旨の内容が多く、28 件でした。

【問 11】 当事業は、地域全体で子育て家庭を支えていく機運を高めるために実施していますが、さらなる協賛店の拡大や積極的な事業のPRを行い、地域に密着した事業として子育て家庭が利用しやすい環境をつくり、利用促進を図ることが必要と考えます。利用しやすい事業とするためには、どのような方法があると思いますか。

アンケートの記載内容は、以下のような内容に分けられました。

【問 11】	回答数
サービス内容を向上させる	15
応援カード事業のPRを行う	12
協賛店の増加・広域化をする	9
協賛店であること・サービスの内容を分かりやすく表示する	7
お店での声かけを行う	5
一世帯当たりのカードの交付枚数を増やす	3
イベントの開催等を行う	3
その他	5

※類似意見が複数あるものを項目化



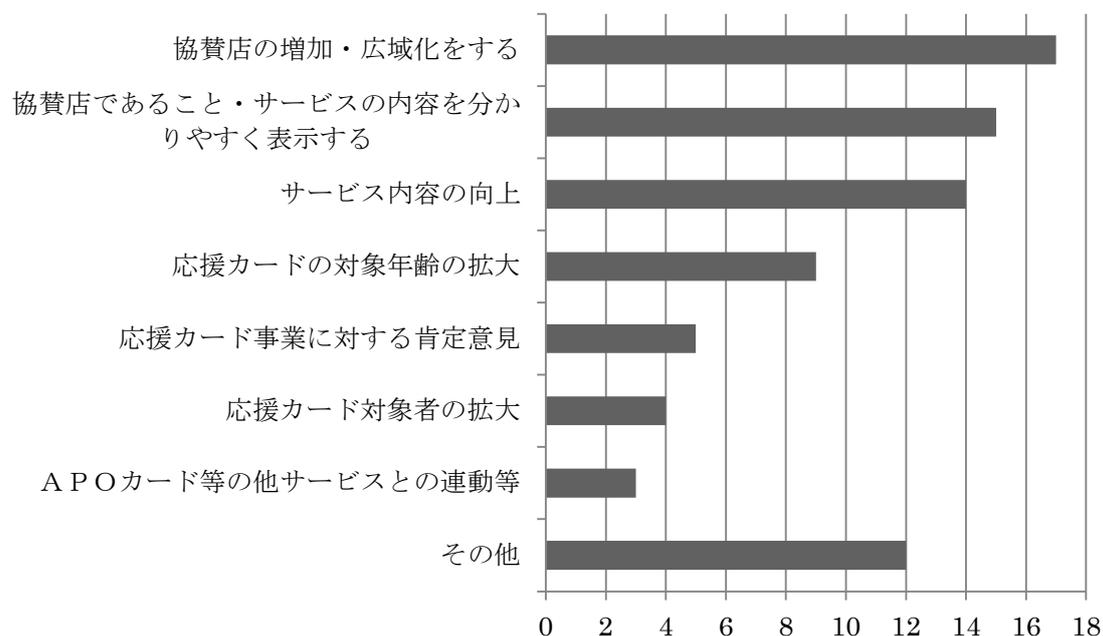
より利用しやすい事業にするためには、「サービス内容を向上させる」といった意見が最も多く 15 件、次いで「応援カード事業のPRを行う」といった意見が 12 件でした。

【問 12】 阿賀野市子育て応援カード事業について、ご意見・ご要望がございましたら
ご自由に記入してください。

アンケートの記載内容は、以下のような内容に分けられました。

【問 12】	回答数
協賛店の増加・広域化をする	17
協賛店であること・サービスの内容を分かりやすく表示する	15
サービス内容の向上	14
応援カードの対象年齢の拡大	9
応援カード事業に対する肯定意見	5
応援カード対象者の拡大	4
APOカード等の他サービスとの連動等	3
その他	12

※類似意見が複数あるものを項目化



当事業に対するご意見・ご要望としては、「協賛店の増加・広域化をする」といったものが最も多く、17件でした。次いで、「サービス内容の向上」が15件、「サービス内容の向上」が14件でした。

【調査結果まとめ】

今回のアンケートにより、まだまだ子育て応援カードの認知度は低く、市内で浸透していない現状が明らかとなりました。

現在は、第1子出生のときや、子どもがいる家庭が転入した際に子育て応援カードの案内をしており、カード利用世帯は増加しています。しかしながら、利用率はなかなか上がっていません。利用者のアンケートをみると「どこのお店が協賛店かわからない」との声が多数上げられました。

そのため、新しいステッカーとのぼり旗を協賛企業に配布しました。一つの目印として協賛企業・子育て家庭の方に利用していただきたいと思います。

このほか、利用者からは「お店がどのようなサービスがやっているかわからなく、お店の人にも聞きづらい」との意見も多くありました。

協賛店からは、今後、カードを持っているかの声かけを積極的に行いたいとの意見を多くいただきました。このような取り組みにより、カードがより使いやすいものになっていけばと思っております。

また、利用者からは割引率を上げるなどの経済的なサービスの向上を期待する声も数多く上げられました。当事業は社会全体で子育てをサポートする気運を高めることが趣旨であり、サービス内容に関しては、当事業にご賛同していただいた協賛店の厚意に基づき、各協賛店独自で設定していただいているものです。

今後、子育て応援カードがより市内で浸透し、もっと大きな子育ての輪が地域全体に広がるよう取り組んで参ります。

協賛企業の皆様においては、日頃より当事業にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。



阿賀野市子育て応援カードに関するお問い合わせ

〒959-2092 阿賀野市岡山町10番15号

阿賀野市役所 社会福祉課 児童福祉係

TEL 0250-62-2510 (内線 2152)

FAX 0250-61-2036

E-mail shakaifukushi@city.agano.niigata.jp